

Lesson 14 E7 Blues Introduction

Lesson 14 E7 ブルース・イントロダクション

今回はEのクラシックなブルースにおけるイントロでよく出てくるパターンをやってみるよ。

以前やった (Lesson12 でやった1弦~3弦を使う) E7を覚えているかな？

そして、その1弦を開放のEにするパターンもあったね。

これらを使ってブルースのイントロパターンをやってみるよ。

-playing(0:30)-

もう一度。

-playing(0:45)-

(0:58)

以前学んだダブルストップに1弦開放Eを加えて弾きながら、高い3度(1弦4フレットG#)も織り交ぜる。全部ダウンストロークがいいね。

毎回言うけど、右手をブリッジ側の弦の上に置いて、不要な弦が鳴らないように留意してね。

-playing(1:20)-

(1:35)

中指が3弦、人差し指が2弦、そして1弦は薬指で押さえたり離したり。

-playing(1:46)-

そして最後はEコードだ。

1弦~3弦だけを使うパターンだね。

カウントからやってみるとこんな感じだよ…One, Two, Three, Four…

-playing(2:09)-

【注記】

- ・押弦するポイントについてRobbenは様々な言い方をしていますが、ここでは「5弦3フレットC」「6弦開放E」などの表記に統一します。
- ・翻訳モノにありがちな読み難さの一因となっている「直訳」を排除した結果、Robbenの実際の言葉とは若干違った表現になっている箇所がありますが、読者にとってのストレスのない自然な理解を促すためのものであり、Robbenが言わんとしていることはそのままに、大局を損なうことのない翻訳を心がけました。
- ・モードの解説において「○○スケール」と「○○モード」の言葉の使い分けはせず、Robbenの言に最大限忠実に訳しながらも、より理解をしやすいように、柔軟にそれぞれを言い換えて訳しているケースもあります。 翻訳 山岸敦